

平成24年
埼玉県の人口動態概況
(確定数)

平成25年11月

埼玉県保健医療部保健医療政策課

目 次

1	人口動態の概況	1
2	各 論	2
(1)	出 生	2
(2)	死 亡	10
(3)	乳児死亡及び新生児死亡	25
(4)	自然増減	26
(5)	死 産	29
(6)	周産期死亡	30
(7)	婚 姻	31
(8)	離 婚	33
(9)	合計特殊出生率	34

巻末（統計資料）

第1表	人口動態の年次推移（埼玉県）	36
第2表	〃（全 国）	38
第3表	人口動態総覧（対前年比較）－埼玉県－	40
第4表	〃－全 国－	41
第5表	死因順位（1～10位）別死亡数・死亡率（人口10万対）の対前年比較	42
第6表	死因簡単分類別死亡数・死亡率の対前年比較	43
第7表	死亡数、性・年齢（5歳階級）・死因（死因簡単分類）別	47
第8表	人口動態総覧（保健所・市区町村別）	56
第9表	〃（都道府県別）	60

埼玉県の人口動態概況（概数）について

これは、厚生労働省が平成24年1月から平成24年12月までの人口動態調査票を集計したものを年計として公表するものです。

また、期間中に以下のとおり市制施行がありましたが、この概況においては、平成24年12月末日現在の市区町村名で集計しました。

平成24年10月 1日 白岡町 → 白岡市

<二次保健医療圏及び保健所>

この概況では以下の二次保健医療圏及び保健所で集計しました。

二次保健医療圏		圏域内保健所	圏域内市町村
南部保健医療圏		川口保健所	川口市・蕨市・戸田市
南西部保健医療圏		朝霞保健所	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町
東部保健医療圏			下記市町
副次圏	東部(北)保健医療圏	春日部保健所	春日部市・越谷市・松伏町
	東部(南)保健医療圏	草加保健所	草加市・八潮市・三郷市・吉川市
さいたま保健医療圏		さいたま市保健所	さいたま市
県央保健医療圏		鴻巣保健所	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町
川越比企保健医療圏			下記市町村
副次圏	川越比企(北)保健医療圏	東松山保健所	東松山市・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・ときがわ町・東秩父村
	川越比企(南)保健医療圏	坂戸保健所	坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・鳩山町
		川越市保健所	川越市
西部保健医療圏		狭山保健所	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市
利根保健医療圏			下記市町
副次圏	利根(北)保健医療圏	加須保健所	行田市・加須市・羽生市
	利根(南)保健医療圏	幸手保健所	久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町
北部保健医療圏			下記市町
副次圏	北部(東)保健医療圏	熊谷保健所	熊谷市・深谷市・寄居町
	北部(西)保健医療圏	本庄保健所	本庄市・美里町・神川町・上里町
秩父保健医療圏		秩父保健所	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

<比率の解説>

$$\text{出生・死亡・婚姻・離婚の率} = \frac{\text{件数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

※ 死因別死亡率については、×100,000

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{乳児（生後1年未満）死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{新生児（生後4週未満）死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増減率} = \frac{\text{自然増減数（出生数－死亡数）}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出産数（出生数＋死産数）}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{後期（妊娠満22週以後）死産数＋早期新生児（生後1週未満）死亡数}}{\text{出産数（出生数＋後期死産数）}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \times 15 \text{歳} \sim 49 \text{歳までの合計}$$

（5歳階級で算出）

<比率算出に用いた人口>

○全国、埼玉県的人口

「平成24年人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）」による
都道府県・男女別人口（日本人人口）

○さいたま市保健所管内の人口

「平成24年人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）」による
21大都市人口・男女別人口（総人口）

○市区町村の人口

埼玉県総務部統計課「平成24年10月1日現在推計人口（総人口）」

統計表の表章記号

—	計数のない場合
…	計数不明の場合又は計数を表章することが不適切な場合
・	統計項目のあり得ない場合
0.0	数値が微小（0.05未満）の場合
△又は－（マイナス）	減を表す場合

1 人口動態の概況（平成24年1月～12月）

（1）出生数＜減少＞

出生数は56,943人で前年に比べ1,116人減少し、出生率は人口千人に対し8.0で、前年と比べ0.2ポイント低下した。

（2）死亡数＜増加＞

死亡数は59,137人で前年に比べ1,467人増加し、死亡率は人口千人に対し8.3で、前年と比べ0.2ポイント上昇した。

（3）乳児死亡数＜増加＞

乳児死亡数は114人で前年に比べ5人増加し、乳児死亡率は出生千人に対し2.0で、前年と比べ0.1ポイント増加した。

（4）自然増減数＜減少＞

自然増減数は△2,194人で前年に比べ2,583人減少し、自然増減率は人口千人に対し△0.3で、前年と比べ0.4ポイント低下した。

（5）死産数＜減少＞

死産数は1,390胎で前年に比べ3胎減少し、死産率は出産(出生+死産)千人(胎)に対し、23.8で、前年と比べ0.4ポイント上昇した。

（6）周産期死亡数＜減少＞

周産期死亡数は249人(胎)で前年に比べ6人(胎)減少し、周産期死亡率は出産千人(胎)に対し4.4で、前年と同率であった。

（7）婚姻件数＜増加＞

婚姻件数は36,776件で前年に比べ549件増加し、婚姻率は人口千人に対し5.2で、前年に比べ0.1ポイント上昇した。

（8）離婚件数＜減少＞

離婚件数は13,434件で前年に比べ113件減少し、離婚率は人口千人に対し1.89で、前年に比べ0.01ポイント低下した。

表－1 人口動態の概況（対前年比較）

	埼玉 県											
	平成24年	平成23年	増減	率			平均発生間隔					
				平成24年	平成23年	増減	平成24年		平成23年			
							時	分	秒	時	分	秒
出生	56 943	58 059	△ 1 116	8.0	8.2	△ 0.2	9	14		9	3	
死亡	59 137	57 670	1 467	8.3	8.1	0.2	8	53		9	7	
乳児死亡	114	109	5	2.0	1.9	0.1	76	50	32	80	22	1
新生児死亡	50	48	2	0.9	0.8	0.1	175	12	0	182	30	0
自然増加	△ 2 194	389	△ 2 583	△ 0.3	0.1	△ 0.4	…			…		
死産	1 390	1 393	△ 3	23.8	23.4	0.4	6	18	8	6	17	19
周産期死亡	249	255	△ 6	4.4	4.4	—	35	10	51	34	21	11
婚姻	36 776	36 227	549	5.2	5.1	0.1	14	18		14	31	
離婚	13 434	13 547	△ 113	1.89	1.90	△ 0.01	39	8		38	48	